



会長 菅野 嘉洋  
副会長 三田地大悟  
幹事 松田 福美

=会長指針=

そして社会も磨きましょう

・・・ 例会記録 ・・・

10月第1週例会 2025年10月 2日(木)

ソング：君が代・4つのテスト ボックス：15,000円 (報告者 佐藤裕貴 会員)  
本日出席率：54.84% 前回修正後 58.06% (メークアップ 4名) (報告者 谷地 保会員)

★ 会長の時間：菅野 嘉洋 会長



今日は「朝ドラに思ったこと」というお話をしたいと思います。私はNHKの朝の連続テレビ小説、朝ドラが好きでずっと見ておりますが、4月から始まった朝ドラ「あんぱん」が先週最終週を迎えるました。その最終週の中で印象に残ったシーンについて、私が感じたことをお話をしたいと思います。

知らない方のために少し補足いたしますと、「あんぱん」はアンパンマンのみの親であるやなせたかしをモデルとした漫画家とその妻のぶさんの一生を描いた物語です。

最終週でアンパンマンのアニメ化が決まるのですが、漫画家が作詞したアニメの主題歌（アンパンマンのマーチ）に対し、プロデューサーから主題歌の一節を修正してほしいとの要請が入ります。その一節が子供向けのアニメ主題歌には適切ではないと。漫画家の妻は反対します。その一節が最も伝えたい部分であると。実際その一節はこの物語のしめくくりとしても用いられ、いわばこの物語の核となるような大事な意味を持つ一節でした。

しかし、漫画家は驚くほどあっさりとプロデューサーの要請を受け入れます。修正しましょう、それが子供たちのためになるのなら、私は子供たちの喜ぶ顔がみたいのです、と。それまではけっこうこだわるところにはこだわるような姿勢を貫いてきたキャラクターでしたので、それもあってとても印象に残ったシーンでした。

私たちが例会時に唱和している4つのテストにも「みんなのためになるかどうか」という一節があります。私は4つのテストの中でもこれが一番肝心なところではないかと思っています（ここでいうみんなとは広義では社会に暮らすみんなという意味もあるかもしれません、私は会員を指すと解釈します）。会長として判断を求められる場面において、私自身の考えはあっても、4つのテスト特に「みんなのためになるかどうか」に照らし合わせることはぶらさずにやっていきたいと思っております。

信念を持ちそれを貫くことはとても大事なことです、みんなのためになるかどうか、の考えに基づき、修正が必要であれば意地にならず修正する。そういった姿勢もまた大事ではないか、と思いました。

朝ドラの話に戻りますが、ドラマの中ではこのように歌詞が修正されました。「そうだ うれしいんだ生きるよろこび たとえ胸の傷が痛んでも」

私はこの一節が大好きです。

ご清聴ありがとうございました。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

- ❖ 10月のロータリーレート 1ドル149円と連絡あり
  - ❖ 「地域社会の経済発展月間のリソース」・「ロータリー公共イメージ推進のためのリソース」 「財団ニュース」が届いています。
  - ❖ RLI研修パートIIの案内
- 日 時 11月22日(土)9時~16時15分 場 所 仙台迎賓館 斎苑  
登録〆切 11月7日
- ❖ クラブ活性化セミナーとガバナーエレクト壮行会 (会長とご相談の上ご返事ください)
- 日 時 11月30日(日)  
セミナー 10時~12時 壮行会 13時30分頃~  
場 所 盛岡グランドホテル  
登録料 セミナー 1人 2,000円 壮行会 1人 10,000円  
登録〆切 10月31日
- ❖ 10月4日(土)5日(日)に開催される「AmeFes2025」に仙台泉ローターアクトクラブが運営ボランティアとして参加するので皆さんもぜひ見学に来てくださいとの事。

2 ガバナーエレクト事務所より

10月1日ガバナーエレクト事務所を開設したとの連絡と次年度の「クラブ情報確認用紙」の提出のお願いが届いています。 締め切 1月16日

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

★ 三田地大悟会員 : 野球部より

日程は後日お知らせしますが、2日間の練習時間を持ちたいと思いますので宜しくお願ひします。

★ 谷地 保 会員 : お時間を頂戴して

大船渡商工会議所 庶業部会主催で「中小企業の生きる道」と題した講演会が行われます。皆様のご参加お願ひします。

日時 10月22日(水) 15時~16時45分  
場所 大船渡商工会議所 1階研修室  
講師 中小企業家同友会全国協議会幹事長 中山英敬氏



## ★ 古内一二 R財団委員長



ポリオと R 財団について話させて頂きます。

ポリオと財団については、私より先輩の方々は十分にご理解していると思われますので、私より入会の遅い後輩の方々に向けに、サクッと話をしたいと思います。残りの時間は DVD で世界のポリオ撲滅広報活動の内容を見て頂きたいと思います。

まずは日本のポリオの現状ですが、日本名は「急性灰白髄炎」で、過去には「小児麻痺」と呼ばれていました。

日本に於いては 1960 年（昭和 35 年）に患者集が 5 千人を超えて流行しました。しかし、ポリオワクチンの導入により 1980 年（昭和 55 年）を最後に新たな患者は出ておりません。しかし、残念ながらパキスタンやアフガニスタンなどの海外の一部でポリオは根絶されず、そう言ったことから日本では現在も海外から入る可能性も考え、乳児へのポリオ予防接種が行われております。

続いて、ポリオとロータリーの関わりについてですが、これは 1967 年（昭和 51 年）フィリピンの 600 万人以上の子どものために、ポリオワクチンを購入し輸送するプロジェクトを開始したのが始まりです。以来ロータリーは 50 年にわたりポリオ撲滅運動を推進してきました。

その中で特に、1988 年（昭和 63 年）国際ローロータリーと世界保健機構（WHO）が「世界ポリオ撲滅推進活動」（GPEI）を立ち上げたのが大きく、その結果、当時 125 か国以上の国で推定 35 万人のポリオ患者を 99% 減少することが出来ました。現在のポリオ症例数は、全世界で 30 症例となっており 2011 年には「あと少し」というポリオ撲滅の新しい啓発キャンペーンを立ち上げ、寄付総額が 10 億ドルを超えました。

こういった世界のポリオ撲滅運動を管理しているのが、RI のロータリー財団です。

ロータリーの仕組みとして、今我々が活動しているロータリークラブ、国際ロータリー（RI）、そしてロータリー財団の 3 本の柱で支えられています。

ロータリー財団の寄付は大きく分けて、地域財団活動資金（DDF）と国際財団活動資金（WF）に分かれていますが、そのうちの国際財団活動資金の約半数以上の資金が「ポリオ撲滅推進活動資金」に使用されています。

また、世界では、ジャッキー・チェン、ジャックニクラウス、ビルゲイルなど多くの有名人も財団に多額の資金援助と共に、ポリオ撲滅活動の大使として広報活動も行っております。

最後に、今月 10 月 24 日は「世界ポリオデー（WPD）」です。当クラブでも、今月 11 日、12 日に大船渡 RC と一緒にポリオ撲滅の広報活動を行う予定になっております。私自身は残念ながら、仕事の関係で参加できませんが、会員の皆様、多くの参加をお願いいたします。この後 DVD 鑑賞。